

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970500249
法人名	有限会社 三愛商事
事業所名	グループホーム すずらん
所在地	〒781-1101 高知県土佐市高岡町甲1684
自己評価作成日	平成21年12月21日
評価結果市町村受理日	平成22年5月31日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.nippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970500249&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームは、住み慣れた地域の中で、入居者一人ひとりがゆったりと安心して生活できるよう、常に、いたわりと優しさを心がけ、支援しています。このため、入居者と職員は和気藹々楽しく暮らし、町内会にも加入し、地域の方との交流を一層深め、家族や地域の方々と職員みんなで入居者を支え合っていくホームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

閑静な住宅街に位置する平屋の落ち着いた雰囲気の事業所である。開設7年目で利用者の平均年齢も高くなっているが、どの利用者からも自宅でくつろいでいるような、ゆったりとした家庭的な雰囲気が感じられる。管理者を始め職員と利用者とのコミュニケーションは良く取れており、利用者のペースを大事にしたケアを心掛けている。地域の一員として近隣住民との交流もあり、地域に根付いた事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員全員理念については理解している。また、職員会や毎日のミーティングの中で利用者に対してのケアの統一性を具体的に話し合っている。</p>	<p>住み慣れた地域の中で安心して暮らせることを目指した事業所独自の理念を利用者が毛筆で書き、玄関に掲示している。職員は毎日のミーティング等で理念について話し合っており、「ゆったりと安心して」という理念が日々実践されている様子が窺える。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に加入して地域の方と一緒に一斉清掃や自主防災訓練にも参加している。散歩や買い物などに出掛けた折、地域の方と挨拶を交わしたりしている。時に花など頂いたりすることもある。</p>	<p>自治会に加入し、一斉清掃などに参加するほか、日常的にも散歩や買い物時には挨拶を欠かさず、花等の差し入れも受けている。催し物には地域の住民の参加があり、また、地域の防災訓練に参加するなど、地域の一員としての関係づくりに努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は実践を通じて積み上げている認知症の人々の理解や支援方法を地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>現在、地域に向けた取り組みが出来ていないので、今後、出来るだけ地域貢献の取り組みを行ってきたい。</p>	/	
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では事業所からの報告と共に委員の質問、意見、情報などをいただき、双方向的な会議を実施している。その結果少しずつ利用者に良いサービス提供やケアが出来るようになってきている。</p>	<p>事業所から運営状況等について報告し、参加委員から質疑等が出され双方向的な会議となっている。また、評価結果についても報告し、提案等を受けサービス向上に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村主催の講習に参加したり、解らないことがあれば市の担当に相談したり、指導を受けている。今後より良い関係を築くよう努力していきたい。	市主催の介護保険事業所を対象にした勉強会に参加したり、市の担当者から事業所の実情を伝えたり相談するなど、市との関係づくりに努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者一人ひとりに対するリスク等を家族に説明し、理解していただけるよう随時、情報提供をしている。職員間でも、利用者の現況報告など日々のミーティング等で話し合い、改善策を一つ一つ探りながら、拘束がないホームづくりを目指して努力している。	職員会などで、身体拘束について話し合い、理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。拘束をしないリスクについても家族に説明している。また、一人で外出する利用者には職員が付き添うなど、個々の利用者の習慣や傾向を把握したケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の研修にも参加したり、日頃から利用者一人ひとりの身体観察などを行い、何かあれば報告するようにしている。また、職員がお互いに注意し合える職場環境を目指している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会等の主催する研修に参加したり、機会があれば話をするようにしている。今後はホーム内での勉強会も実施し、全職員の理解を深めていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、時間をかけて説明を行い、家族の不安点、疑問点に答え、理解、納得を得られるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に個別に意見等を聞きとるよう心掛けているが、要望や意見が言いやすい関係づくりを目指し、家族の気持ちを汲みとれるよう取り組んでいきたい。今年、家族会を開催し、要望や質問等が出され、丁寧に説明するなど対応している。	利用者は日々のケアの中で、家族の意見等は面会時に話す機会を設けて聞いている。休会状態であった家族会が、今年度開催され、参加家族から意見や要望が出され、事業所から説明したり、運営に反映させている。なお、家族同士が話し合う機会は持たれていない。	家族は身内が世話になっていることから、意見等を言い難いことを理解し、家族会の際に、家族同士で話し合える機会を設け、家族の自由な意見を引き出す取り組みを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者の受け入れについて、全職員で情報を共有し、職員の意見を聞くように心掛けている。また、運営や業務に関しても職員の意見を聞きながら実施するよう努めている。	職員会や日々のミーティングの機会を捉えて、職員の意見や提案を聞き、利用者サービスの向上や働きやすい職場環境づくりに繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人ひとりの勤務状況を把握し給料水準、労働時間等、ある程度バランスを考え、働きやすい職場づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの経験や力量に合わせた研修を心掛けているが、尚一層職員育成に重点を置いた取り組みをしていきたい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他事業所との情報交換やサービス向上に向けた取り組みを定期的に行い、今後もサービスの質の向上に活かすよう努めていく。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の面談で、ご本人の言葉に耳を傾け、不安や要望に応えられるよう努力し、信頼し合える関係を築くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に、ご家族の意見等を十分に伺い、信頼し合える関係を築くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>個々にニーズを把握し、家族とも話し合いながら、必要なサービスが受けられるよう支援している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は利用者を人生の先輩として敬い、家族同様に愛情を持って接している。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者と家族の関係を大切にしながら、家族の協力も得て、共に利用者を支えていく関係づくりに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>昔の知り合いの方がホームに面会に来てくれた際には、ゆっくり歓談する機会を作るなど、快くお迎えし、次の訪問についてもお願いしている。</p>	<p>知人、友人が時々来訪してくれたり、受診先で声を掛け合うなどしている。また、月に1回程度、帰宅したり自宅に立ち寄るなど、利用者のこれまでの関係を継続する支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>全職員が利用者同士の関係を把握しており、トラブルになりそうな場面においても、仲裁に入り、利用者が孤立しないように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も電話したり、訪問するなどして近況を把握するよう努めている。月日が経っても継続できるようにしていきたい。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の利用者の言動や仕草から、その思いを把握し、できるだけ意向に沿うようにしている。意向の把握が困難な利用者は、表情などから推測したり、家族から情報を得て職員で検討しながら支援している。</p>	<p>利用者の生活歴や家族からの情報を受けて、思いや意向の把握に努めるとともに、職員は日常生活の表情や仕草から察することができるよう、馴染みの関係の構築に配慮している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>日常会話の中で昔の事などを聞き取り、また、家族にも聞き取りを行い、できるだけ把握するよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>職員一人ひとりが、利用者の心身の状況や生活能力の把握に努め、その状況は全職員に伝わるよう、ミーティングや申し送りノート等で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族にも意見や要望を聞き、また、職員会やミーティング等で職員にも意見やアイデアを求め、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は職員会等で話し合い、3カ月毎に見直し、家族の同意を得ている。また、ケアプラン実行表を作成し、毎日記録することで利用者の状況把握に役立てている。期間設定も入退院や身体状況の変化に合わせて随時見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や状態、気づき等個別に記録し、職員間で情報を共有するとともに、介護計画に沿って実践状況を評価し、現況に合った介護計画となるよう見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族の状況に合わせ、可能な範囲で既存のサービス以外にも柔軟に対応するよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域のボランティアによる読み聞かせなどを利用させていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望を大切にし、納得が得られるかかりつけ医と適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望する医療機関で受診できるよう支援している。また、通院は家族の同行を基本としているが、状況に応じて職員が対応している。受診結果は個別記録や業務日誌に記載し、情報を共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護や協力病院等の看護職員に現況を伝え相談し、適切な受診やケアを受けられるように支援している。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者の状況等について情報交換を行い、安心して治療が出来るように努めている。</p>	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族には日頃から事業所でできることを説明し、利用者の今後のことについても、話し合いを持つよう努めている。</p>	<p>重度化や終末期に対する指針を定め、家族にも説明している。看取りの事例はないが、本人や家族の意向を大切にし、医療関係者と連携し、安心して納得した最期が迎えられよう、体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は救急法等を学ぶ機会もあり、また、日常のケアの中でも話し合っているが、今後、実践力を身に付けるために、定期的に訓練の機会を設けるなど取り組んでいく。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の自主防災にも参加し、協力をお願いすると共に、協力体制をより深めるよう地域との関係作りに努めている。	事業所独自の訓練のほかに、地域の防災訓練に参加し、地域の一員として地域住民の協力を得る体制が築かれている。また、非常用食料や備品について、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルの目安に応じた確保ができています。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けには気をつけて対応しているが、どうしても声のトーンが大きくなったりすることがあるため、尚、一層、職員の意識づけに取り組んでいく。	プライバシーの保護等については職員会で話し合い、利用者の人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。職員同士でも気をつけており、日々のケアのなかで、注意し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が自己決定できるよう、場面づくりの提供に心がけているが、職員中心になりかねない項目であるため、今後も気をつけていきたい。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員ペースにならないよう、尚一層気をつけ個々のペースに合わせたケアを目指していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の協力も得ているが、ホームでも清潔に過ごしていただけるよう配慮している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、一緒に食事の準備を好む利用者が居らず、実施できていないが、利用者が時折、コップ一つを片付けてくれることもある。食事内容は利用者の好み等に合わせ、個別に対応している。	食事の献立は、母体法人の栄養士が作ったものを利用者の好みを聞いて調整している。調理方法や盛り付けなども個々に応じて配慮し、職員は利用者に寄り添い、さりげなく介助しながら、利用者と同じ食事を一緒に食べるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態を把握し、職員間で話し合い、個々にあった支援が出来るよう努力している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員が付き添い、言葉掛けを行いながら個々に合わせたケアを心掛けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者毎の排泄パターンを把握して、職員会やミーティングで話し合い、個々の支援内容について介護計画書に記載し、排泄の支援に取り組んでいる。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレでの排泄介助や見守り支援を行い、オムツを使用することなく、トイレでの排泄などの自立を目指したケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の体操や散歩、水分摂取にも心がけ、できるだけ便秘にならないよう、医師にも相談しながら支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	個人の希望があれば対応するように心掛けているが、ほぼ規則的な実施に留まっている。個別対応できるよう努力しなければならない。	利用者の希望に沿って、基本的に2日に1回の入浴を実施している。入浴を拒否する利用者には、声掛け、時間帯の調整、職員交替、足浴など工夫した入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に合わせて、必要に応じて休息していただいたり、お昼寝タイムを設けるなど、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが薬については気を配り、何か症状の変化があれば直ぐに家族に連絡し、医師の指示を得るようにしている。また、職員間でも申し送り伝達を徹底するよう心掛けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションや散歩、ドライブ、買い物、折り紙等、実施しているが、尚一層、偏ったケアにならないよう努力していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>家族の協力を得ながら、帰宅や外出できるように支援している。ホームでも、個別対応が出来るように、尚一層努力していきたい。</p>	<p>近隣の量販店やドラッグストアへの買い物、中学校や近所への散歩など、車椅子の方も含め日常的に外出支援をしている。また、季節の花見、海へのドライブなど行楽を兼ねた外出支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人の希望と状況により本人が管理している方もいる。また、買い物の希望によっては職員と一緒に買い物に出かけられる方や、職員が個人の買い物をする場合もある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に応じて電話や手紙を出す支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用スペースには、季節に応じた花や壁飾りなど工夫している。また、生活環境等にも常に気を配るようにしている。</p>	<p>居間や食堂には、一般家庭で使用するような馴染みの家具を配置し、近所の方から頂いた季節の花を活けている。また、壁には利用者が作った折り紙のお雛様や季節の花を飾るなど、手作りの暖かい雰囲気を出している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居間や畳みの部屋でゆっくりうつろげようとしているが、利用者は一人になりたいときは個人の居室で過ごしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	家族の写真や、各個人にあった希望する物を持ち込んでもらい、自由に使用できるよう支援している。	テレビや筆筒を配置し、家族の写真や家族から来た絵葉書を壁に貼ったり、自作の折り紙を飾るなど、利用者一人ひとりの好みや生活感のある居室づくりに努めている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	各自が出来る事は自分でし、また、できる方は洗濯物を一緒にたたむなど、自立した生活が送れるように支援している。		

V アウトカム項目		
項目	該当するものに○印	取り組みの成果
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
		2. 利用者の2/3くらいの
		3. 利用者の1/3くらいの
		4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
		2. 数日に1回程度ある
		3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない